

刊夕日八廿月九



發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社
電話 六三〇番

或る日の會話 (二)

眞繼 雲山

佛。サレバこゝに百萬兩あるから持つてゆけ。
凡。ワアッ!
佛。と言ひたいが、實はわしも持ち合せが無いテ。
凡。ウーン。
佛。さう陰るな。……時に何か、娑婆といふ處は借金が出来ると殺しに来るか。
凡。首まで持つてゆくといふそんな手荒なことは申しません、破産をすればアトは返さずに済みます佛。さて、氣樂な世界ぢやのう。それならモウちつと生きて居れ。
凡。所が降りつもる苦しみが背負ひ切れません、こんなな苦しむくらゐならいつそ死んだ方が増しです。
佛。誰が苦しむのか。
凡。手前が苦しみますで。
佛。誰に頼まれて苦しむのか。
凡。誰れも命令は致しません。
佛。頼まれぬせぬのに何んでそんなに苦しみたいのか。
凡。苦しみますにはおられせん。
佛。おかしな話ぢやのう。苦しむ苦しむはお前の

勝手ぢやらうに……あー金をつくれ、天に昇れといふことなら、それは出来ぬ相談ぢやが、苦しむ樂しむは、お前の心柄で自由になる問題ではないのか、あーん。お前は苦しむのが死ぬ以上に辛いといふ、誰が注文するでもないものを自分勝手に苦しむといふのは我が手で我が面を殴つやうなもの……時節がら御苦勞千萬ぢやテ。
凡。へへエ……。まあ早く申せば、そんなことにもなりません。
佛。佛教では、さういふ百にもならぬ苦惱を雜念に妄心といふてナ、それを拂へよと教へる。拂ふたところが清淨心ぢや。禪に無念無想といふもそれぢや。浄土門に自力の計度をはなれよといふもそれぢや。臺家に止觀行といふのも、つまりは敬亂の心を停止して眞實のすがたに還ふよに外ならん。雜心を拂ふた無念の處が佛心ぢやから、苦惱を謝して佛心に入るは左まで六つかしいことではない。一家心中はまアそ



母の愛を詠む

潮 村

病み付きぬ子の枕邊に付ききりの親は淋しくやつれ果けり
晝寝する子の枕邊に土産置き顔見合せて微笑にけり
遊び過ぎ父に責められ悲しきに母の優しき愛の一言
人の眞似させたき母や苦し身に心盡しの冬の着替えを無心に寝る幼子を折々に寢息うかがう母や針仕事始めて教師となれる頃
白 朱 實
□子供等は三十五人ありすなほにて一人一人にいとしかりける
□いとけなき子等にまぢりて一ときをさわぎ暮しつ寂しきまゝに
□何かなし悲しきにあり何かなし嬉しき日あり此の日の頃
□××と言ふ村なども有り其の村にはかなく生さる女もありぬ
□何にても金取業は容易なる業にはあらず涙ながら

器灸温ムウチラ

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特許賣專 許特賣專

約卸治 福島縣平町五ノ廿八
販理療 志賀齒科醫院
賣部部 福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子

定價表

金拾參圓 藥及特効ツツ五週分付
金拾圓 藥上製桐箱入一揃
金拾圓 藥及特効ツツ五週分付
(說明書呈)

秋の中折帽特賣

生地・染色・色彩に31年秋の最新流行中折帽子を六種のベストプライスで提供致します……

鳥打帽子 三五ヨリ
ベール 二五ヨリ

58
60
80
90
1.30

平5丁目電353 モリタヤ洋品店

井 三 井

の 商品切手

番 八 四
三 二
平三電

上田 外科醫院
平町 南町
電話 二一九番

許特案新
號五一三五一第

小鍛治式極東ムシカマド

◎本品にニセ物有小鍛治式に御注意

元賣販造製
店商治鍛小
番三三電 三平

産名城磐

出賣節製

最優最大日本生命平代理店

志賀盛榮

平四丁目電二二三番

魚問屋

專門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

電話 一八一番

月曜論説

熱狂渦を脳して

郡民を擧げて熱狂渦の中に投げ込んだ縣會議員の選挙も政民三對三の結果を見て茲に終末を告げた。選挙運動開始當初の形勢は候補難の政友が野黨の立場に在る丈に勝目甚だ乏しく現有勢力の三を維持し難き苦境に置かれてあつたが軍費薄の理想選挙を以つてよく此苦難に耐え遂に敵將一人を屠り最高位より順次第二位第三位と壓倒的に三名の無事當選を見たるは確かに政友派の一大成功と目すべきものがある。石城郡は一時は政友派の金城鐵壁と唱へられた全盛期もあつた、月移り時變つて勢力は次第に

逆轉し民政次第に擡頭し今や政友派の牙城崩るの感ある時政友今回の全當選は辛くも土俵際に於て立ち直した觀があり依然政友の潜勢力たるや穿固として抜くべからざるものあるを明らかに肯定せしめた、されど總得票數が民政に多きを見ては政友たるもの氣を安んずる譯には行かぬ。更らに將來の捲土重來を今にして講ずるなくんば現有勢力の維持は覺束ないであらう、何れにもせよ、戦へは終つた今や此の渦中より脱して宇内の形勢を見れば内憂外患交々至るの型ちにある、郡民は喧嘩終へての棒ちぎりの態度を脱して眼を大局に注ぎ國家の前途に大過なからん事を期さねばならぬ。

石城郡開票の結果

當選

- 五、七〇六 (會社員) 井上茂作(政元)
 - 四、六四六 (同) 田子健吉(政新)
 - 四、四七三 (農業) 赤坂毅一(政新)
 - 四、二九一 (自動車業) 野崎滿藏(民現)
 - 四、一九五 (齒科醫) 萩原義雄(民新)
 - 三、八一六 (商業) 石川德壽(民新)
- (次點)
- 三、七七五 (農業) 草野三郎(民新)
 - 一、一二二 (水産技手) 松本清之丞(無新)

縣議戰各候補得票數

町村別	者有數	投票數	井上	田友	赤會	政友會	野民	萩原	石川	黨野	民政黨	大衆黨	無効
飯野	4,021	3,599	1,855	288	33	1,866	350	67	25	1,600	83	3	
鹿島	3,651	3,556	1,481	181	4	330	177	23	0	255	3	0	
江名	1,083	733	300	77	2	399	247	0	0	351	0	0	
久間	733	522	1,516	23	0	185	104	0	0	322	0	0	
高井	533	477	200	15	0	333	104	0	0	191	0	0	
夏井	533	477	200	15	0	333	104	0	0	191	0	0	
神谷	678	602	297	22	0	470	104	0	0	333	0	0	
草野	870	711	203	22	0	470	104	0	0	333	0	0	
大浦	1,351	702	1,104	407	6	493	104	0	0	271	0	0	
大倉	777	602	300	27	0	333	104	0	0	191	0	0	
平窪	377	300	1,216	181	3	277	104	0	0	191	0	0	
赤井	1,351	1,216	1,104	181	2	277	104	0	0	191	0	0	
下川	400	371	291	71	0	333	104	0	0	191	0	0	
三坂	511	491	6	23	0	175	104	0	0	191	0	0	
澤渡	509	691	190	150	0	493	104	0	0	271	0	0	
永輪	504	633	2	190	6	243	104	0	0	191	0	0	
好間	2,096	1,819	533	177	3	711	250	104	0	377	0	0	
内郷	4,351	3,854	700	200	5	1,055	504	104	0	377	0	0	
湯本	2,554	2,150	91	177	3	277	104	0	0	191	0	0	
磐崎	1,311	916	100	101	2	277	104	0	0	191	0	0	
上野	908	823	1	91	0	333	104	0	0	191	0	0	
入野	808	777	1	91	0	333	104	0	0	191	0	0	
田部	917	657	3	202	0	333	104	0	0	191	0	0	
川部	777	557	3	202	0	333	104	0	0	191	0	0	
勿部	1,086	1,081	5	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
山田	551	553	1	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
植田	1,071	959	1	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
渡邊	700	559	9	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
玉泉	400	366	20	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
小川	1,733	1,491	30	263	0	333	104	0	0	191	0	0	
合計	26,700	23,916	5,766	4,606	473	14,815	4,711	4,195	3,775	16,077	1,123	352	

滿堂たゞ歡喜

全候補當選の

政友派祝賀會

三名の候補者を全部當選せしめた政友派にては昨日午後一時より聚樂館に於て祝賀會を催し木村會長の開會の辭ありて當選票數を報告し縣議當選者井上、赤坂、田子の三氏が感激に耐えぬ面持にて謝辭を述べ安島重三郎、中野浩忠、佐藤庄太

井上氏の最高點は

縣下の第一位

同情一身に集り

今回の選挙に最高點は野崎氏と傳へられて居た處開票の結果に依ると同氏は俄然

第四位に落ち寧ろ危

しと云はれた井上氏が豫想到に反し最高點の榮譽を獲得郡民を驚かしてやまなかつたが同氏は前回に於て落選し殊に今回は候補者難の結果無理押しされて出馬した事として擁立者も同氏を落す事は

出来ぬとの決意に燃

え各々零細な金を據出し軍費薄の同氏を援助し持辨當ワラジ履きにて奮闘した効あつたと共に鈴木辰三郎氏の支持よろしきを得一層同情が集つて此の意外な好成绩を占めたものと觀られて

舉違反の檢舉に活動中であつたが本日其派に屬せる者廿數名検事局に召喚され山本、市川兩檢事嚴重取調中で某候補の買収事件である

音樂擔任協議 本縣高等女學校音樂科擔任者協議會は廿八九の兩日磐城高等女學校に於て開かれ教材の撰擇其他を協議すると

激浪にもまれて

鯉漁船轉ふく

船員は幸ひに無事救助

廿六日夕刻から廿七日午前中迄郡下を襲つた暴風雨の爲め各地に多少の被害ある模様であるが廿七日午前八時頃小名濱築港内へ暴風を避難した靜岡縣清水港の鯉漁船四隻のうち最後に逃げ込んだ大治丸は停船作業中激浪の爲め轉覆したが乗組員は小名濱防組の救助船及び附近の漁船に全部救はれた

優良馬所有者

獎勵金下附

郡内廿四名に 石城郡産馬組合では豫てより農林大臣の種牡馬獎勵金下附の爲郡下優良馬の所有者を調査中であつたが此程石城郡入遠野村鯉岡正記氏外廿三名に決定近く申請される筈である

夜道を歸る途中

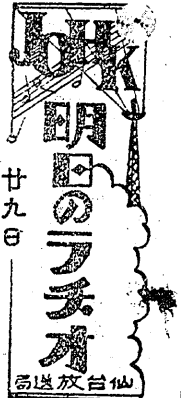
二十娘襲はる

石城郡赤井村鹽田高木政吉長女マス(二)は昨二十七日午後八時頃上小川方面へ所用で出掛けた歸途偶然通り合はした近所の露木保政(三)と連れ立つて歸るうち保政はかねてマスに思ひを焦してゐたのでこれをチャ

ンスとばかりマスをお説き初めさては暴力に訴へんとさへするのでマスは斷然之れをばねつけそのまゝ逃げ歸らんとしたが保政は跡

を追つてマスの顔面を毆打し全治一週間の傷を負はせたと後危ふく狼藉の巷と化せんとしたが通行人に邪魔されて目的を果さず逃走したのを本日政吉から平署へ訴へ出た

腹ペコ男 東白河郡 無錢飲食 近津村字 大室一五生れ住所不定渡邊 徳太郎(五)は昨夜九時半頃 田町五飲食度松本茂三郎方



明日のラジオ

今夜は北東の風 晴れたり曇つたり 明日は北西の 風秋晴の天氣

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 「空響」島田牛種 後六、〇〇 英語講座「初等科」(七)岡倉由三郎 後八、〇〇 九月の歴史に因む琵琶の夕 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫

告生蘭相場

明日の部 前九、一〇 料理献立「鯉の刺身」 前一〇、三〇 家庭講座「離しがたい子供の生活と玩具」有坂與太郎 後〇、〇五 映畫物語「地獄の天使」藤南秀

マラソンの小學選手

プールに墜落溺死

石城郡湯本町字臺の山入山プール内に廿六日午後三時半頃小學學生風の溺死体あるを通行人が発見したので駐在所員が檢視すると同人は湯本町大字湯本字三國二一行治次男山本正雄(三)で同人は當日同校の秋期運動會に選手として出場するので受持訓練に伴はれ入山プール附近のグラウンドにマラソン練習中であつたが残暑が強い爲プール上に休憩してた際誤つてプールの最深部二十尺の箇所墜落其儘溺死を遂げて居たものであります

石城繭取引状況

△四倉市場 廿六日 (白繭)五〇貫(最高)二圓 △立町八 鈴木信(三五)

勿驚破天荒廉賣

記念新坑着炭 磬城炭界... 正味拾貫匁入 一俵金貳拾五錢 一俵より 配達します

水野石炭商店

東京コークス。販賣 平郵便局通り 電話二九九番



(四十六)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

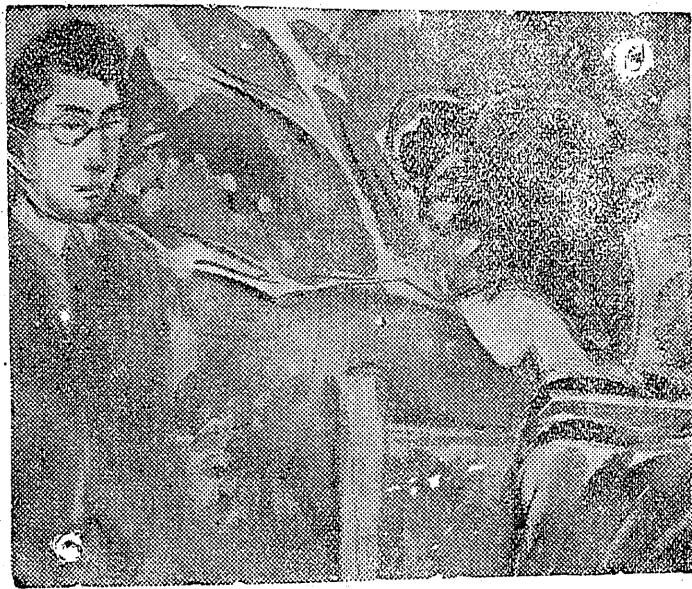
【載轉禁】

蝴蝶の宿 (7)
「居らつしやつて？ 遇つて下さること」歌治は待閤かしさうに聲をかけた。
「ハイ、おいで、ございませう。只今お退ひになるさうです。どうぞこちらへ」ポリーは先に立つて階段を下りた。

出して来て、歌治に與へた妙なところで會つて呉れるものだと思ひながら、手巾を袂から取り出して椅子の上に敷き、それへやを腰を落して薄寒い雨あがりの空気に肩を濡め、切りと襟をかき合せてゐた。

「おい、何しにやつて来た」源之助はふら／＼と傍へ寄つて来てから、どう思つてか二三歩後へさがつて突けんとなんか聲をかけた。そして突立つたなりに咬へた葉巻をぐいと口から取つて、やけに菩提樹の幹へ火

のか懐かしいといふのか、口惜しさと嬉しさとを打混ぜた錯綜した思ひが紅い唇となつてぐる／＼と頭腦のなかに渦巻いたこの異常な感覚は彼女を睡のやうにしてつて凝然と俯睡れたきり一語も言ひ得させなかつた。



何處の枝に咲いた華か、夕月の微明に、ほがり／＼と辣らつばい匂ひが流れて来る。青葉越しに見える煉瓦造りの高窓に、紅い灯がぼつと浮いて艶かしい女の笑ひ聲が落ちるのも、胸惡い印象の一つであつた。
「サしお寒いですが、此處で少しお待ちなすつて下さい、直にお見えになるでせうから……」

ポリーが立去つてから間もなく後に軽い足音がした。ひよいと振回ると月明りに朦朧と人影が浮き出した。それが三月越し會はなかつた戀男の源之助であつた。男の顔を見ると歌治は遂に全身の血液が鳴りどよむやうに覺えた。悲しいといふ

口を擦りつけた。
「木村だなんといから、銀行の友達で木村といふ男が尋ねて来たのかと思つたら大違ひぢやないか、歌なら歌だ何故言はないんだ。第一此處はお前なんか来るところぢやない、ちつとは違慮するものだ、はやく歸

つたがよいぞ、どうしたんだと言ふんぢや、今頃こんなところに……」
歌治は黙つてゐた。
「一体俺にどんな用があるんだ。小遣錢でも無心に來たのか」
けんもほろ／＼な險しい詞が響いた時に、歌治の肩がずきりと慄えた。いつしか濕んでゐた眼を開けて睨むやうに男の顔を見あげながら「随分邪慳なことをいふのね、貴郎は……お金が欲しけりや電話一つで大きなお紙幣がくしやみをしながら駈つけて来るわよ。誰が酔狂にこんな横濱くんたりまで態々出て来るもんですか。」
「然うだらう。講中が多いからな、フ……」

美味！ 芳醇！ 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

融金替爲・債公・券債

多田井質店

平町大工町
電話九五九一

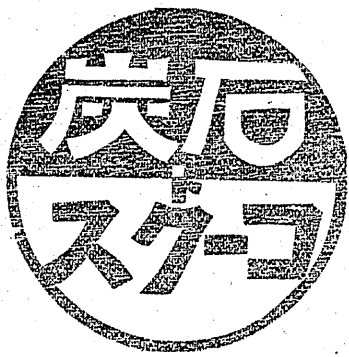
お商用ニ
タクシー電
五六九
六三二
ドライブニ
イワキタクシー

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)

大和田醫院



ザールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ！
此レ程良イ石炭トハ

思ハンカツタ
品ガ良ク
値ガ安ク
經濟的ニハ正ニ
百パーセントダ

モシ／＼電話二三七番デスカ

早く一俵御届ケ下サイ

平停車場前

阿部石炭商店

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

吉田眼科病院
平南町、電話六八番

毛糸と編物用具

全部新色二・三一

入荷致しました

相變らず御用命の程……

平田町

ハシモトヤ

糸店

難波醫院

平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番